

Delicieux

Ngon

おいしい

Rico

Lecker

第60期

2025.4.1~2026.3.31

株主通信

Buono

Tasty

Enak

好吃

Вкусно

Reka

Gostogo

株式会社ダイショー

証券コード：2816

おいしさで・しあわせをつくる
ダイショー



株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第60期(2025年4月1日～2026年3月31日)の事業概況のご報告とご挨拶を申し上げます。

食品業界におきましては、原材料費・物流費・人件費の上昇を背景とした価格改定の動きが継続する一方、消費者の節約志向は依然として強く、厳しい事業環境が続きました。加えて、近年は気候変動の影響も大きく、残暑の長期化など季節変動によって需要動向が左右されるなど、経営環境の先行きは引き続き不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社は、次のステップへ向けた施策の立案と実行を念頭に、2028年3月期までの3か年の中期経営計画に基づく取り組みを新たに開始しています。次世代を切り開いていくために「Challenge 2028 ～世界に誇れる企業へ～」をテーマとして、ファン(FAN・FUN)を大切に食の楽しさを創造する企業風土を醸成し、市場づくり、モノづくりにおいて

「“楽しい味”で 世界にプラスを。」というビジョンを徹底的に追求してまいります。

その具体的な施策として、部門横断型のプロジェクトチームで企画・開発した第1弾を2026年の春夏商品としてリリースしました。また、定番商品のブラッシュアップに加え、新しい食べ方や利用シーンの提案など、購買意欲の維持・向上に向けた工夫を重ねながら、新規顧客の開拓に注力してまいりました。

以上の取り組みの結果、当事業年度における売上高は274億89百万円(前期比104.8%)となりました。利益につきましては、営業利益は6億80百万円(前期比103.7%)、経常利益は6億66百万円(前期比99.0%)、当期純利益は4億55百万円(前期比99.3%)となりました。

なお、当期の配当につきましては、1株当たり21円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
松本 俊一



Q 第60期の業績および期中の取り組みへの評価をお聞かせください。

当期の製品群別概況では、液体調味料群の小売用製品においては、『秘伝 焼肉のたれ』をはじめとする焼肉のたれ類が売上が牽引するとともに、鍋スープにおいては「博多もつ鍋スープ」が好調に推移し、いずれも主力定番製品が堅調に推移しました。

鍋スープについては、残暑の影響により立ち上がりに遅れが見られたものの、新しく投入した「監修鍋スープ」が好調に推移し需要を喚起したことで、全体の販売拡大につながることができました。

業務用製品では、オイルソース類を中心に売上が拡大し、時短・簡便ニーズへの対応を進めたことにより、精肉向けや惣菜向けを中心に通期での成長につながりました。

粉体調味料群においては、「味・塩こしょう」シリーズが上期から好調を維持し、安定した売上基盤を確保しました。一方、業務

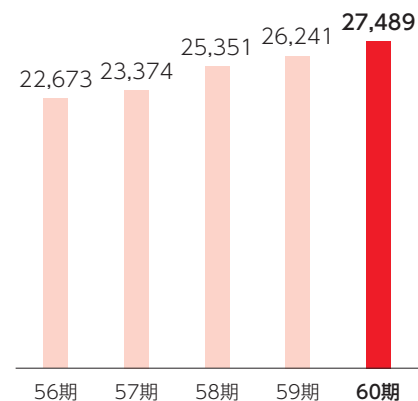
用製品については一部で厳しさが見られました。

その他調味料群においては、「スープはるさめ」シリーズなどが底堅く推移したものの、業務用製品については通期を通じて厳しい販売環境が続きました。

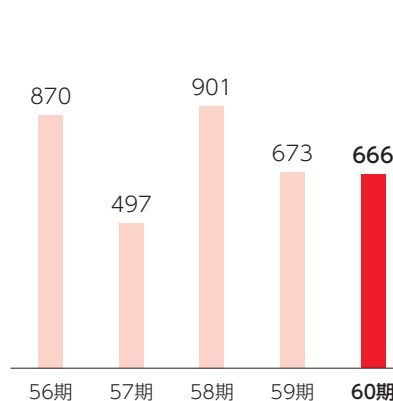
この結果、売上高は前期を上回る増収を達成いたしました。上期においてはコスト増の影響が大きく利益面で厳しさが見られましたが、通期では収益面において持ち直しの動きが見られました。

厳しい事業環境の中においても、中期経営計画に基づく取り組みを着実に推進し、収益構造の改善と次の成長に向けた基盤づくりを進めることができた一年と評価しております。今後も持続的な成長の実現に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

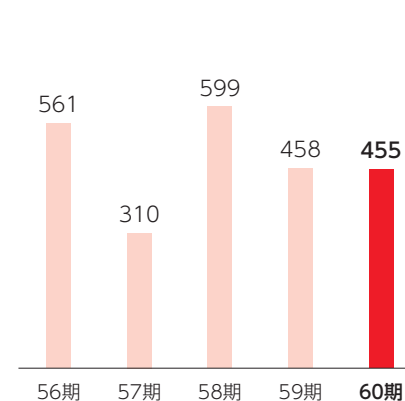
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)



Q 第61期(来期)の見通しについてお聞かせください。

現在の日本経済は、賃上げの定着が消費を下支えする一方、原材料費や物流コストの高止まりが続き、食品業界における価格改定は引き続き避けられない状況にあります。消費者の節約志向が一段と高まるなか、企業には価格以上の付加価値の提供がこれまで以上に求められています。加えて、気候変動に伴う需要変動や市場環境の変化も顕在化しており、経営の舵取りにはこれまで以上に高い柔軟性が不可欠となっています。

取引先や競合各社ではデータ活用やDX投資が加速し、競争環境が大きく変化しています。当社がこれまで強みとしてきた「情報を活かした提案力」の優位性を維持・強化するうえでも、さらなる高度化が急務であると認識しております。今後の持続的な成長には、一人ひとりの創意工夫を最大限に引き出すとともに、組織としての連携を一層深め、総合力を高めていくことが重要です。

新体制が発足した2024年4月以来、当社は「“楽しい味”で世界にプラスを。」というビジョンの実現に向けた取り組みを推進してまいりました。第61期においては、次なるステージとして「ビジョンの深化と価値実装」を掲げ、ビジョンをより具体的な価値として市場・顧客・組織へと着実に届けてまいります。

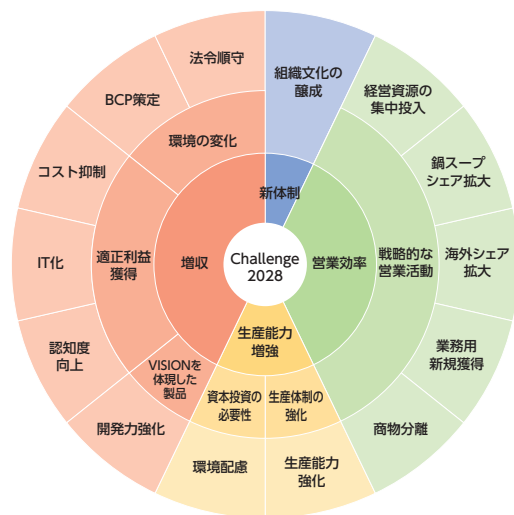
その実現に向け、第61期は2つの重点テーマを設定しております。第一は「業務価値(プロセス価値)の向上」です。デジタル技術の活用と業務プロセスの高度化を通じて、品質・効率・再現性の向上を図り、強固な事業基盤の構築を目指します。第二は「情緒的価値(顧客体験)の向上」です。人にしか創り出せない価値を磨き上げることで、他社には模倣できない独自の

魅力を創出してまいります。これら2つの取り組みを車の両輪として機能させることで、当社ならではの競争優位の確立を図ってまいります。

以上の施策を通じて、第61期通期の業績見通しにつきましては、売上高285億円、営業利益7億円、経常利益7億円、当期純利益4億20百万円と予想しております。

今後もダイショーの経営理念である「おいしさで・しあわせをつくる」を価値創造の基本としつつ、当社の強みである開発力と提案力をブラッシュアップし、お客様・お取引先各位との信頼関係を宝としながら全社一丸となり、事業のさらなる成長と業務の一層の効率化に努めてまいります。

新中期経営計画
「Challenge 2028～世界に誇れる企業へ～」の体系図



商品コラム

しあわせの味

ダイショーは「おいしさで・しあわせをつくる」という企業理念のもと、日々の食卓に笑顔を届ける商品づくりに取り組んでいます。このコラムでは、そんな“しあわせの味”を生み出す商品のこだわりや開発の裏側、社員の想いをご紹介します。今回は、『つけ旨オイル』に込められた“しあわせ”のストーリーをお届けします。



忙しい日のキッチンに、うれしい余白をつくる『つけ旨オイル』

「今日の料理は楽だったな」「また作ろう」、日常の“余白”を増やしたい想いから生まれた新しい下味調味料『つけ旨オイル』。袋にお肉と本品を入れ、もみ込むだけで驚くほど柔らかく仕上がります。香ばしさと甘みのバランスが絶妙なく焦がし醤油味と、塩麴のうまみに黒こしょうを効かせた(うま塩味)をご用意しました。時間があるときに仕込んでおけば、あとは焼くだけ。まとめ買いや下味冷凍をする家庭が増えていることもあり、現代の暮らし方へ自然に寄り添うよう仕上げています。中間期にご紹介したVISION「“楽しい味”で世界にプラスを。」を形にする商品づくりから生まれた、最初のご提案です。

下味としてだけでなく、炒め物・チャーハン・唐揚げなどにも使える万能オイルで、その日の気分や冷蔵庫の中身に合わせてアレンジでき、料理の楽しさも後押ししてくれます。

家族の「おいしい!!」が増え、食卓に小さなワクワクが生まれること。その積み重ねが、私たちが目指すビジョンへつながると信じています。『つけ旨オイル』は、忙しい毎日の中にも“うれしい余白”と“楽しい味”をお届けする、新しいパートナーです。

取り組みコラム

味でプラス!

「“楽しい味”で世界にプラスを。」というビジョンのもと、ダイショーは商品づくりだけでなく、さまざまな取り組みを通じて社会に“プラス”の価値を届けています。このコラムでは、社内の改善活動や表彰制度、株主様とのコミュニケーション、地域との連携など、商品以外の“プラス”の取り組みをご紹介します。今回は「自分の会社を知ってFANを増やそう!!」プロジェクトより、社員たちの声をご紹介します。

「自分の会社を知ってFANを増やそう!!」プロジェクト——モノづくり体験工場見学ツアー

未来創造会議の提案から生まれたプロジェクトの中心となる取り組みが、工場見学“モノづくり体験工場見学ツアー”です。異なる場所で働く社員が現場を訪れ「会社の舞台裏」に目を向けることで、仕事への理解や誇りが深まっています。



「衛生管理の徹底に驚いた」

高松営業所 大森 紅
製造に携わる方々の努力と緊張感を体感し、ロス削減を自分事として考える視点が生まれました。その意識が、日々の仕事の質にもつながっています。



「11年ぶりの見学で価値観が180度変わった」

新潟営業所 滝澤 久起
工場は機械中心というイメージでしたが、多くの人の手と労力で支えられている現場に驚きました。提案の際、背景まで語れる営業を目指したいと感じています。

ツアー後のディスカッションでは“会社全体にとって何がベストか”を考える時間となり、部署の壁を越えた成長につながりました。この積み重ねがVISION「“楽しい味”で世界にプラスを。」から、一人ひとりの行動へつなげる土台となっています。

生産本部 改善提案活動 — 現場から“より良くしたい”をカタチに —

当社の改善提案活動は、正社員だけでなく、すべてのメンバーが参加できる取り組みです。

2007年以降19年にわたり継続してきました。

社員一人ひとりの「もっと良くしたい」という想いが積み重なり、提案件数は年々増加。

2025年度には、九州工場・福岡工場・福岡第二工場・関東工場の4拠点合計で390件に達しました。

選考会 現場をよく知る目線が集まる時間

受賞案の決定は、生産本部の各部門から選ばれた代表者による選考委員会で行われます。今回の選考会では、九州工場・福岡工場・福岡第二工場の3拠点で寄せられた235件の提案から、金賞・銀賞・銅賞、食品安全貢献賞が選ばれました。

会議室では冒頭から

これは現場で本当に助かっている

安全面の効果がすごい

意外な発想だけど、これは使える



など率直な声次々と飛び交い、時には笑いも混じる、明るく活気ある雰囲気の中で議論が進みました。

提案書だけでは読み取れない“現場の実感”を委員同士が共有しながら、「リスクがないか」「他工場でも広げられるか」といった専門的な視点も交え、安全・品質・効率の観点から多面的に評価されていきます。



ある委員は提案への想いを語りながら、

これ、前からやりたかったんですよ! と熱を込め、別の委員は

この改善、九州工場でもすぐ展開されたほど効果が大きい

と工場間の横展開を紹介しました。

提案者が一人で形にした改善、ベテランが若い社員を巻き込み取り組んだ改善、実務の中でふと気づいた“小さな工夫”が大きな効果につながった改善。

さまざまなストーリーを委員たちの言葉から感じることができ、選考会そのものが**ダイショーの改善文化を象徴する場**となっていました。

2007年度から19年継続
現場の工夫の積み重ね

累計 **6,243**件

2025年度 提案件数

- 九州工場：164件
- 福岡／福岡第二工場：71件
- 関東工場：155件

2025年度 提案者の構成

- 正社員：270件
- 嘱託：38件
- パート社員：79件
- 技能実習生：3件

多様な立場のメンバーから積極的なアイデアが寄せられています。良い提案には仲間から「イネ!」の称賛が届き、優れた改善は表彰される——こうした**前向きな改善文化**が、当社の現場力を下支えています。

議論を通じて磨かれる“選ぶ力”

選考は単なる点数付けではありません。委員たちはその提案の背景、現場への浸透度、改善効果、継続性などを総合的に見極め、「どれだけ“現場を良くする力”になるか」を基準に丁寧に議論します。



関東工場受賞者



九州・福岡・第二工場受賞者

時には **これは安全面から追加検証したい** **粘度の高い製品では工夫が必要** といった慎重な意見も交わされ、

時には **このアイデアは自分たちでは思いつかなかった** と感心の声上がり、委員による投票で順位が決定されました。

選考後、委員の間には

これは納得

いい選び方ができたね

と穏やかな空気が流れ、

改善提案への尊重がどの場面からも感じられました。

改善文化は人によってつくられる

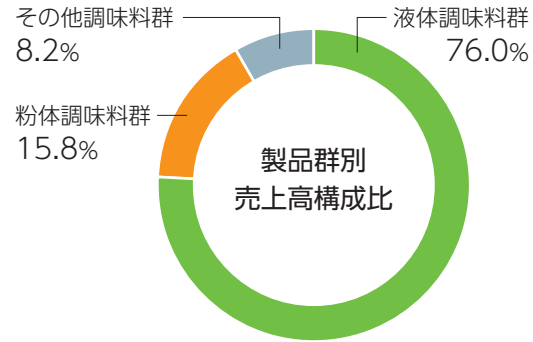
改善提案活動を通じて際立ったのは、立場に関係なく**誰もが主役になれる風土**です。

パート社員からの提案が製造効率改善につながったり、若手社員が主体的にDX(デジタル化)の推進に寄与したり、ベテラン社員がアイデアを深掘りしながら品質向上を実現したりと、多様な働き手が自分の視点で気づきを形にしています。

改善提案活動は、単に作業を良くするための仕組みではなく、**社員の成長と挑戦を後押しする文化そのもの**。

そしてこの文化が、当社の品質・安全・生産性を静かに、確実に支えています。

決算の概要



売上高	274億89百万円	前期比	4.8% 増
営業利益	6億80百万円	前期比	3.7% 増
経常利益	6億66百万円	前期比	1.0% 減
当期純利益	4億55百万円	前期比	0.7% 減

品目別売上状況

液体調味料群

たれ

『秘伝 焼肉のたれ』や『焼肉通り』シリーズなどの焼肉のたれが売上を牽引いたしました。キャンペーンやCM展開などのプロモーション強化が奏功し、引き続き支持を集め、安定した伸びを見せました。

スープ

人気YouTuber監修の『料理研究家リュウジ監修 至高のキムチ鍋スープ』や、名店監修シリーズの『名店監修鍋スープ 喜多方ラーメン坂内淡麗旨だし仕立て』など、新しく投入した『監修鍋スープ』が引き続き好調に推移いたしました。長引く残暑の影響で鍋スープ全体の販売開始には遅れが見られましたが、気温の低下にともない鍋需要が高まるのに合わせて、鍋スープ全アイテムを対象としたキャンペーンを実施し、『博多もつ鍋スープ』類などの定番製品の売上にも寄与いたしました。

ソース

時短や手軽さなど、ますます多様化する需要への対応として、精肉向けのオイルソース類や惣菜向けソースの展開を進めた結果、売上が増加いたしました。

粉体調味料群

『味・塩こしょう』シリーズが好調に推移いたしました。業務用製品においては、精肉向けを中心としたスパイス類などで一定の需要はあったものの、前年を下回る結果となりました。

その他調味料群

小売用製品では、『スープはるさめ』シリーズに加え、『レタスがおいしいパリ麺サラダ用セット』などのサラダ用調味料セットが、キャンペーンの実施なども背景に、底堅く推移いたしました。一方、業務用製品につきましては、引き続き厳しい販売環境が続きました。

財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2025年3月31日現在	当期末 2026年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,788	8,099
固定資産	10,916	12,340
有形固定資産	9,652	10,991
無形固定資産	24	83
投資その他の資産	1,240	1,265
資産合計	18,705	20,440
負債の部		
流動負債	4,969	6,834
固定負債	3,936	3,515
負債合計	8,905	10,350
純資産の部		
株主資本	9,725	10,006
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	8,589	8,870
自己株式	△ 114	△ 114
評価・換算差額等	74	83
純資産合計	9,799	10,089
負債純資産合計	18,705	20,440

- 流動比率は118.5%と返済能力に問題はありません。
- 有形固定資産の増加は主に関東工場増設によるものであります。
- 負債の増加は短期借入金、未払法人税等、買掛金の増加によるものであります。
- 自己資本比率は49.4%と前期末より若干低下しております。

損益計算書(要旨)




































(単位:百万円)

科目	前期 自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日	当期 自 2025年4月 1日 至 2026年3月31日
売上高	26,241	27,489
売上原価	16,541	17,485
売上総利益	9,700	10,003
販売費及び一般管理費	9,043	9,323
営業利益	656	680
営業外収益	49	47
営業外費用	32	60
経常利益	673	666
特別利益	10	17
特別損失	66	18
税引前当期純利益	618	665
法人税等	159	210
当期純利益	458	455

- 売上高は、前期を4.8%上回り24期連続の増収となりました。
- 営業利益は増収のなかコストの効率化に努め、増益となりました。
- 経常利益および当期純利益は、営業外費用増加の影響により減益となりました。

新製品ラインアップ

🍖 … 精肉 🌿 … 青果 🐟 … 鮮魚 🍲 … 食品

 [80g] 焼肉一番 3種の果汁の醤油だれ	 [80g] 焼肉一番 3種の香味野菜の味噌だれ	 [80g] 焼肉一番 柚子胡椒のさっぱり塩だれ	 [45g] 三代目たいめいけん 茂出木浩司シェフ監修 ハンバーグの素	 [250g] 三代目たいめいけん 茂出木浩司シェフ監修 煮込みハンバーグソース	 [98g] 三代目たいめいけん 茂出木浩司シェフ監修 ポークソテーの素	 [110g] 赤から監修 台湾春雨炒め用セット
 [86g] とんバラ焼の素	 [105g] ガバオライスの素	 [120g] サムギョブサルの素	 [90g] ヤンニョムチキンの素	 [95g] タッカルビの素	 [700g] 野菜がおいしい! 冷や汁の素	 [500g] サラダラどんつゆ 柑橘鶏だし醤油
 [500g] サラダラどんつゆ 胡麻みそ担々	 [100g] ピアコーテッドポテトの素	 [16g] きのこがおいしい! 黒アヒージョの素 鹽麴香る醤油味	 [20g] もやし・カット野菜が旨い! ラーメンの上だけ!!! 山椒香るシビレ辛味噌	 [13g] ブロッコリーがおいしい! ペペロンチーノ風 スパイス	 [48g] アボカドワカモレ& トマトサルサ用セット	 [90g] リーフレタス・アボカドが おいしい! 大人のパリ麺 サラダ用セット
 [300g] 神田川監修 究極の海鮮 炊き込みご飯のつゆ	 [79g] よだれ饅頭の素	 [120g] カンジャンサーモンのたれ	 [215g] つけ旨オイル 焦がし醤油味	 [220g] つけ旨オイル うま塩味	 [240g] BBQソース スモーク&ペッパー味	 [240g] BBQソース スパイス&ガーリック味
 [280g] 名店監修 飯田商店つけ麺用スープ	 [300g] 名店監修 麵屋武蔵つけ麺用スープ	 [116g] 名店監修 すみれ味噌仕立て 油そばの素	 [100g] 献立いらす カケラクラどんの素 んにく背脂	 [100g] 献立いらす カケラクラどんの素 中華ねぎ醤油	 [150ml] 今宵サラダドレッシング 海苔しお味	 [150ml] 今宵サラダドレッシング 燻製風しょうゆ味

会社概要/株式の状況

会社概要 (2026年3月31日現在)

社名 株式会社ダイショー (英訳名) DAISHO CO., LTD.
 本社 東京 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
 本社 TEL: 03-3626-9321 FAX: 03-3626-9393
 福岡 〒812-0064 福岡市東区松田1丁目11-17
 本社 TEL: 092-611-9321 FAX: 092-611-8288

ホームページアドレス <https://www.daisho.co.jp>
 設立 1966年12月19日
 資本金 870百万円
 事業内容 たれ、スープ、粉末調味料など製造販売
 従業員数 691名

役員 (2026年6月24日現在)

取締役	代表取締役社長	松本 俊一
	専務取締役	坂田 恵補
	取締役	根岸 宏樹
	取締役	三浦 和信
	取締役	中野 俊明
	社外取締役	本多 伸介
監査役	常勤監査役	牛塚 良信
	社外監査役	成清 一郎
	社外監査役	中野 宏治

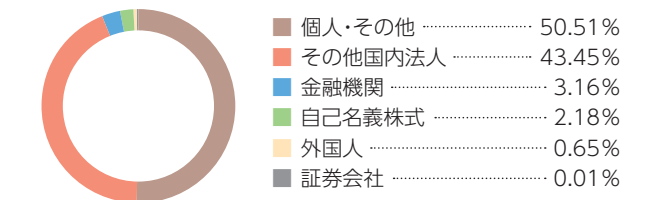
株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 24,000,000株
 発行済株式の総数 9,868,800株 (自己株式216,109株を含む)
 株主数 22,289名
 大株主

株主名	持株数(単位:千株)	持株比率(単位:%)
(有)山田興産	2,442	25.30
一般財団法人金澤記念育英財団	1,488	15.41
松本賢子	853	8.84
ダイショー従業員持株会	254	2.63
松本洋助	206	2.13
(株)西日本シティ銀行	180	1.86
松本俊一	96	0.99
他	4,121	42.70

(注)当社は自己株式216,109株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

株式分布状況 (2026年3月31日現在)



株主優待ご案内

株主優待制度の内容

1 対象となる株主様

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載された**100株以上**ご所有の株主の皆様を対象といたします。

2 贈呈品 自社商品詰め合わせ

- 1,000円相当…100株以上
- 2,000円相当…500株以上
- 3,000円相当…1,000株以上
- 6,000円相当…5,000株以上



写真は3,000円相当の製品例

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

剰余金の配当基準日 期末配当…3月31日
中間配当…9月30日
その他必要がある場合は、
あらかじめ公告して定めます。

単元株式数 100株

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日および12/31~1/3を除く)

公告方法 当社のホームページに掲載。
<https://www.daisho.co.jp>
ただし、電子公告によることができない事故
その他やむを得ない事由が生じた場合には、
日本経済新聞に掲載して行います。

上場金融商品取引所 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード 2816)

●住所変更、単元未満株式の買い取りのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金を「配当金領収証」で お受け取りの株主様へ

配当金を銀行等の預金口座へ入金する手続きをしていただきますと、配当金支払開始日に株主様ご指定の口座に振り込まれます。迅速かつ安全・確実に配当金をお受け取りいただくことができますので、この機会に是非ご検討ください。

安全・確実！ 配当金のお受け取りは**口座振込**をご検討ください。
一度ご指定いただければ、以降は**支払開始日に即日振り込まれます**。

	お受け取り方法	お問い合わせ先
お手続き お問い合わせ先	証券会社の口座 特別口座	お取引口座のある証券会社 上記、三井住友信託銀行(株)証券代行部

❗ お支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができません。

抽選でギフト券を進呈！

株主アンケート

株主の皆さまの声をお聞かせください！

コエキク

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

サービス運営会社：株式会社プロネクサス
お問い合わせ：コエキク事務局 koekiku@pronexus.co.jp

おいしさで・しあわせをつくる
ダイショー

〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
TEL:03-3626-9321(代) <https://www.daisho.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

